

ハピネス

学校教育目標:未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成

学校経営方針:一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

山鹿市立三玉小学校

児童数:169人

文責:校長 北山 純

令和7年3月27日(第19号)

たくさんの思い出ができた1年間

～一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校～

3月7日 お別れ集会・遠足

5年生が中心となって、6年生の卒業をみんなで祝い、全校児童で楽しく過ごす企画・運営をしてくれました。最初に体育館でお別れ集会をしました。内容は、①1年生から6年生へメダルや王冠などのプレゼントを渡し、②各学年からメッセージ渡し、③6年生からサプライズメッセージ、④児童会引き継ぎでした。さらに、みんなで蒲生の池公園及び蒲生の池グラウンドに移動し、全員遊びをしました。縦割り班で昼食をとるなど、6年生との交流をゆっくりとした時間の中で楽しく行うことができました。下の写真は、集会の後の笑顔あふれる集合写真です。今年は、集合写真を撮る機会がたくさんありました。7月のバルーンリリース、10月の運動会、12月の荒木遼太郎選手訪問、2月の150周年記念祝賀会、3月のお別れ集会です。思い出に残る1年となり、三玉小の200周年に向けて発進です。



3月14日 親子観劇会

150周年記念親子観劇会を行いました。転回社さんに来ていただき、芥川龍之介の児童文学「三つの指環」をもとにしたお話をオリジナルの音楽にのせて届けていただきました。



劇団の方々の豊かな表情や透き通る声に魅了されました。子どもたちが色々な場面で表現していく上での学びにもなりました。150周年の締めくくりとして観劇ができ、素敵な時間でした。

図書の寄贈ありがとうございました 碎石文庫

毎年、西日本土木さんから図書の寄贈をいただいております。西日本土木さんは、本校区の久原碎石場などで採石、碎石をされている会社です。その碎石は、道路工事や土木工事、コンクリート材料などに利用されています。

いただいた図書は「碎石文庫」として図書室にコーナーを設置し、多くの児童が楽しみにしています。今年も寄贈いただき、3月3日(月)に、西日本土木さんにご来校いただき、図書委員会への贈呈式を行いました。

